深堀中だより

令和６年３月１８日
第５２号

文責
長崎市立深堀中学校
校　長

学校教育目標「共に学び、高め合う、希望あふれる生徒の育成」

第70回　卒業証書授与式

３月１４日（木）に、第７０回卒業証書授与式を行いました。さわやかな晴天にも恵まれ、３７名の卒業生が深堀中を巣立っていきました。

この日のために１・２年生が準備を担当し、卒業式の会場となる体育館の設営を協力し、皆で力を合わせて細かい部分まで作業を行いました。また、前日の午後からは会場の最終チェック、３年生の教室の飾りつけなど、それぞれが責任をもって取り組み、そのおかげで卒業式を迎えることができました。

卒業式では、最高学年として限られた時間の中で行事に取り組み、他学年の生徒へ範を示して立派に義務教育を終えた卒業生の晴れやかな表情から、新天地に向かう強い意志を感じました。

在校生も、卒業生の堂々とした姿や独特の緊張感を味わいながら、１～２年後の自分たちの卒業式に思いを馳せたと思います。

卒業生を送ることばは２年生が、卒業生門出のことばは３年生が、それぞれしっかりと練習を重ね、立派に述べました。

式辞の中で、これまでの３年生の活躍にふれ、次の２点を心に留めてほしいと話しました。

自分が選んだ道は責任をもって進んでほしい

自立した社会人として地域に貢献できる人材となってほしい

卒業式の翌日、公立高校の後期の発表がありました。最後の最後まで集中力を欠くことなく、努力を続けた結果、３７人全員の進学先が決定しました。これで安心して卒業生を送り出すことができ、４月から始まる次のステージでの活躍を祈るのみです。